

2010 年 4 月 1 日
第 9 回運営委員会
運営委員 川島千裕

「ともに生きる社会の形成ワーキンググループ」設立趣意書のアウトライン（私案）

1. テーマ：ともに生きる社会の形成

性別、世代、民族、国籍、障がいの有無などにかかわらず、全ての人々がやりがいのある仕事と充実した生活を両立させ、自らの意思で多様な選択が可能となる社会、また、「いのち」を相互に尊重し、「ちがひ」を認めあい、誰もが人間らしく幸せに暮らせる社会の構築を目指し、多様な主体の協働のあり方について検討する。

具体的には、「ともに生きる社会の形成」に向けた課題について、①「働く人の多様性」に互いに配慮し、誰もが充実した生活をいとなめること、②「多様な働き方」を可能とする選択肢があること、③「ともに生きる社会」に沿った商品・サービスがあること、の視点から、参加する各主体間で認識を共有するとともに、各主体の具体的な取り組みを検討する。

2. 進め方

（1）事例発表・勉強会による課題認識の共有、行動計画のイメージ作り（4 回程度）

- ・各セクターによる事例紹介・課題提起
- ・研究者、実務家による事例紹介・課題提起

（2）まとめの討議（4 回程度）

- ・「ともに生きる社会」の定義付けと、その「形成」に向けた課題の共有
- ・具体的な取り組みの方向性の共有
- ・行動計画（案）の取りまとめ

3. WG の体制

- ・委員：各主体から 1～2 名程度
- ・幹事：主幹事 労働組合、副幹事 NPO・NGO
- ・主査：円卓会議の専門家委員（＝WG のコーディネートを期待）
- ・勉強会の講師：研究者、実務家

4. 検討スケジュール

- ・2010 年 5～6 月 WG 発足（以降、月 1 回を目途に開催）
- ・2011 年 1 月 行動計画（素案）の取りまとめ
- ・2011 年 3 月 行動計画（案）の取りまとめ・確認

5. 予算：約 80 万円

＜内訳＞

主査謝金	3 万円×8 回
外部講師謝金	3 万円×4 人、交通費 3 万×2 人
テープ起こし代	5 万円×8 回

以 上